

大正大学地域構想研究所
令和3年度「地域戦略人材塾」

第5回
「自然を活かした高付加価値な
持続可能観光(概念編)」

資料1 (観光庁)

「明日の日本を支える観光ビジョン」の概要 観光庁

目 標 値	訪日外国人旅行者数	2020年： <u>4,000万人</u> <small>(2015年の約2倍)</small>	2030年： <u>6,000万人</u> <small>(2015年の約3倍)</small>
	訪日外国人旅行消費額	2020年： <u>8兆円</u> <small>(2015年の2倍超)</small>	2030年： <u>15兆円</u> <small>(2015年の4倍超)</small>
	地方部での外国人延べ宿泊者数	2020年： <u>7,000万人泊</u> <small>(2015年の3倍弱)</small>	2030年： <u>1億3,000万人泊</u> <small>(2015年の5倍超)</small>
	外国人リピーター数	2020年： <u>2,400万人</u> <small>(2015年の約2倍)</small>	2030年： <u>3,600万人</u> <small>(2015年の約3倍)</small>
	日本人国内旅行消費額	2020年： <u>21兆円</u> <small>(最近5年間の平均から約5%増)</small>	2030年： <u>22兆円</u> <small>(最近5年間の平均から約10%増)</small>

課題

- 我が国の豊富で多様な観光資源を、誇りを持って磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも分かりやすく伝えていくことが必要。
- 観光の力で、地域の雇用を生み出し、人を育て、国際競争力のある生産性の高い観光産業へと変革していくことが必要。
- CIQや宿泊施設、通信・交通・決済など、受入環境整備を早急に進めることが必要。
- 高齢者や障害者も含め、すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できるような社会を築いていくことが必要。

「観光先進国」への「3つの視点」

視点 1

「観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に」

視点 2

「観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に」

視点 3

「すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に」

「観光ビジョン実現プログラム」

「観光ビジョン実現プログラム2020」の概要 観光庁

I. 国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化

○新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が大幅に減少し、観光関連産業に深刻な影響。
 ○このため、まずは雇用の維持・事業の継続の支援に注力するとともに、反転攻勢に転じるための基盤を整備し、感染の状況等を見極めつつ、強力な国内需要の喚起策を講じ、国内観光を回復。
 ○その上で、国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等からインバウンドを回復。

○雇用の維持と事業の継続に対する支援、○反転攻勢に転じるための基盤の整備、○国内旅行の需要喚起、○インバウンドの回復

II. インバウンド促進に向け引き続き取り組む施策

・国内外の感染症の状況を十分に見極めつつ、インバウンドの再開に備え、これまで進めてきた受入環境整備や新たなコンテンツづくりに引き続き戦略的に取り組む。

世界水準のスノーリゾート整備



国際競争力の高いスノーリゾートの形成

地域の自然、気候、文化の魅力を生かした体験型アクティビティの充実

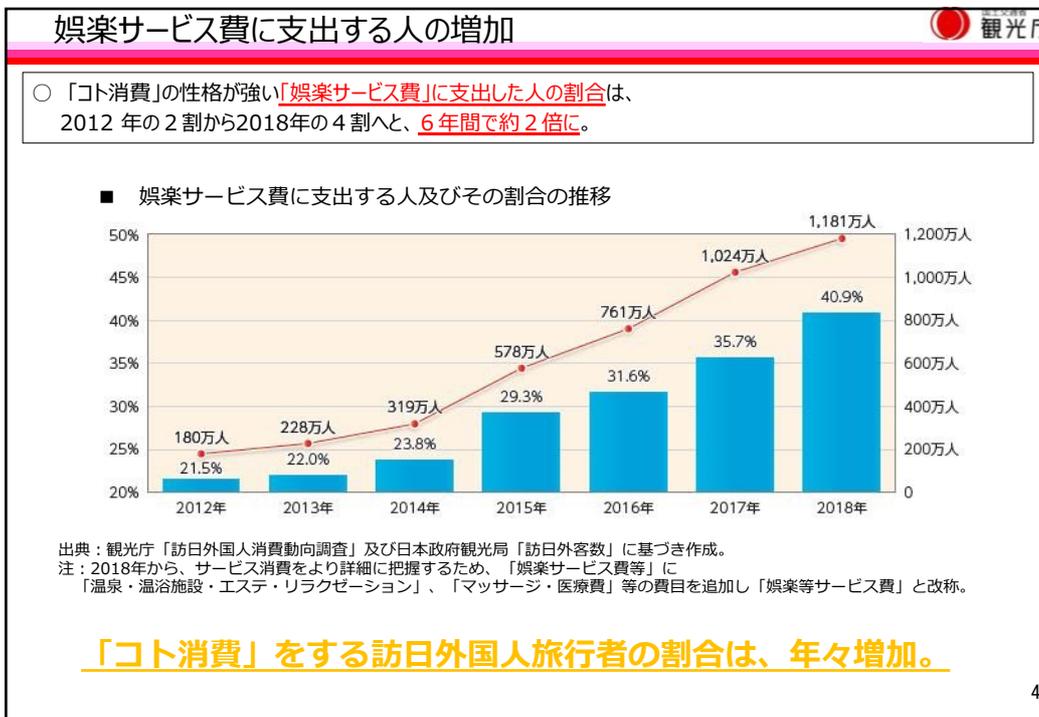
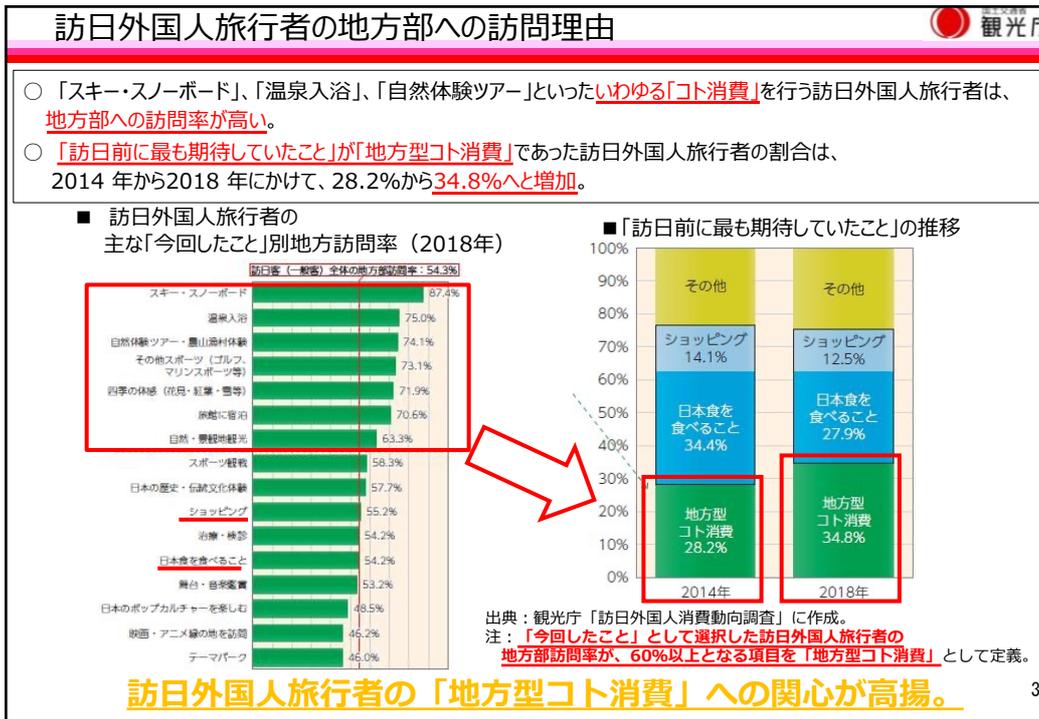


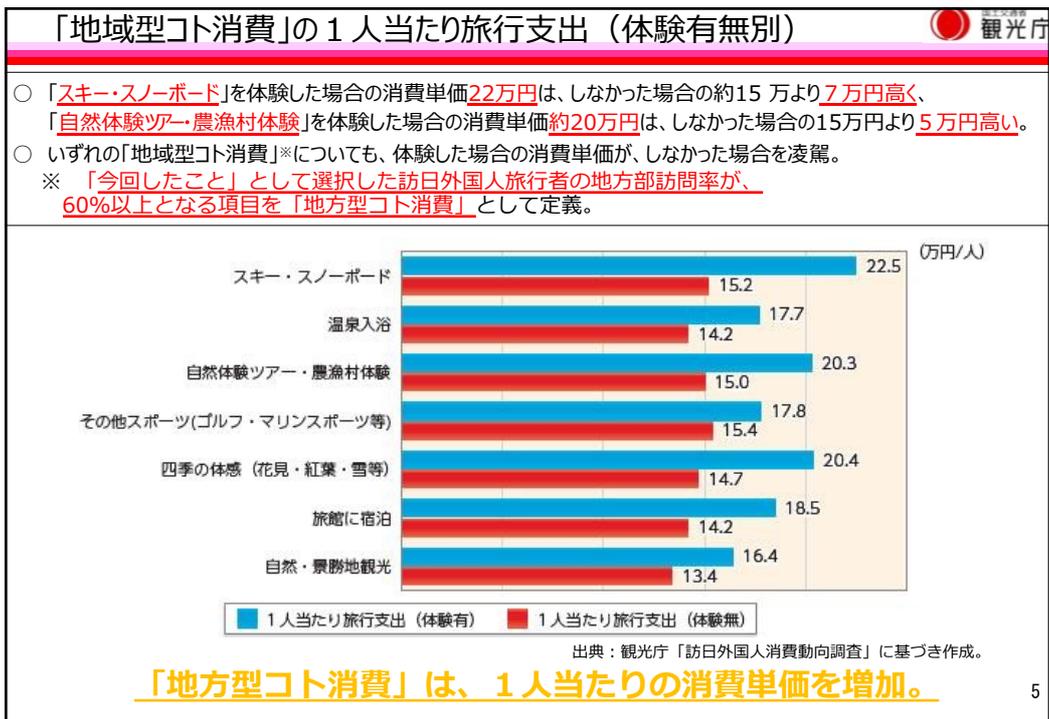
アドベンチャーツーリズムの推進

富裕層が満足できるコンテンツづくり

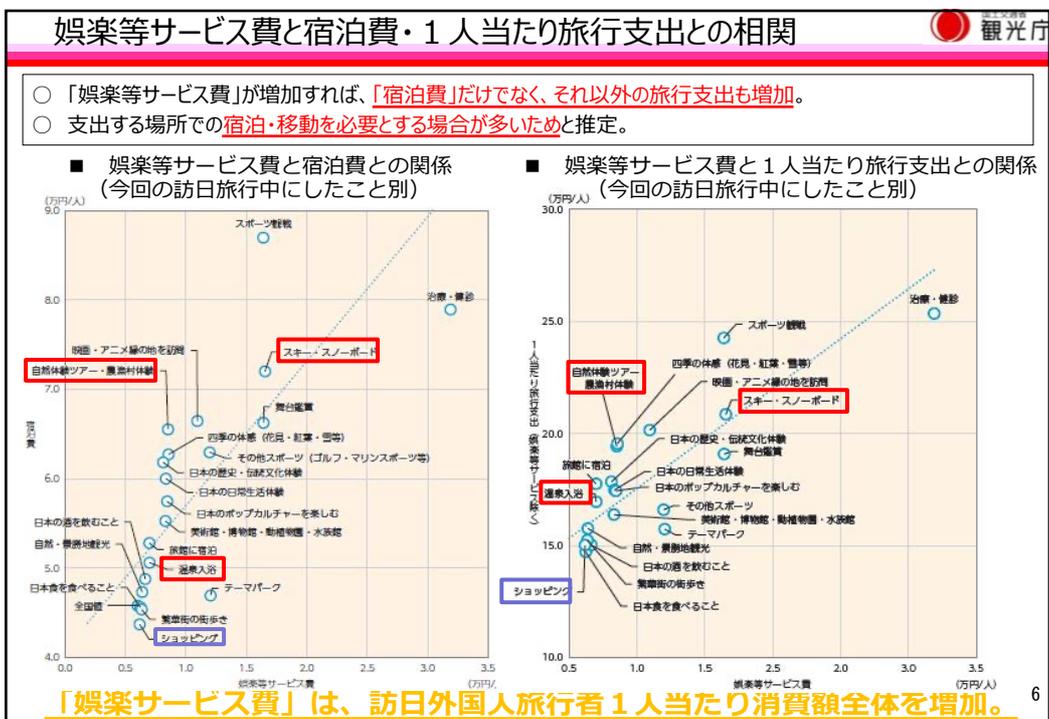


地域の伝統文化の体験等

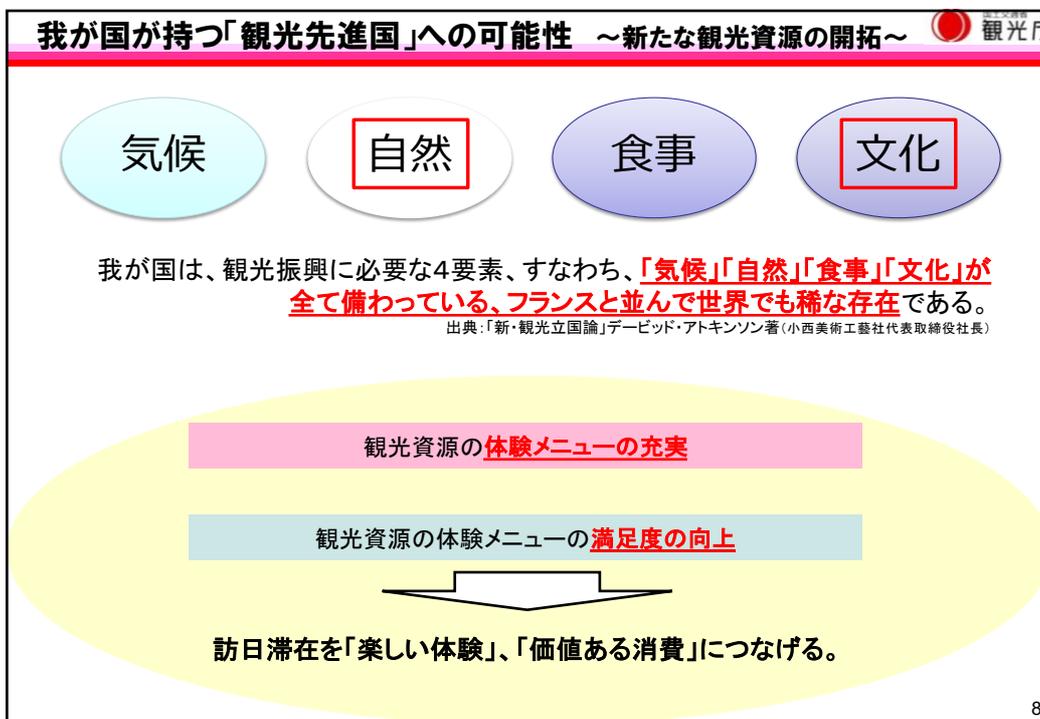
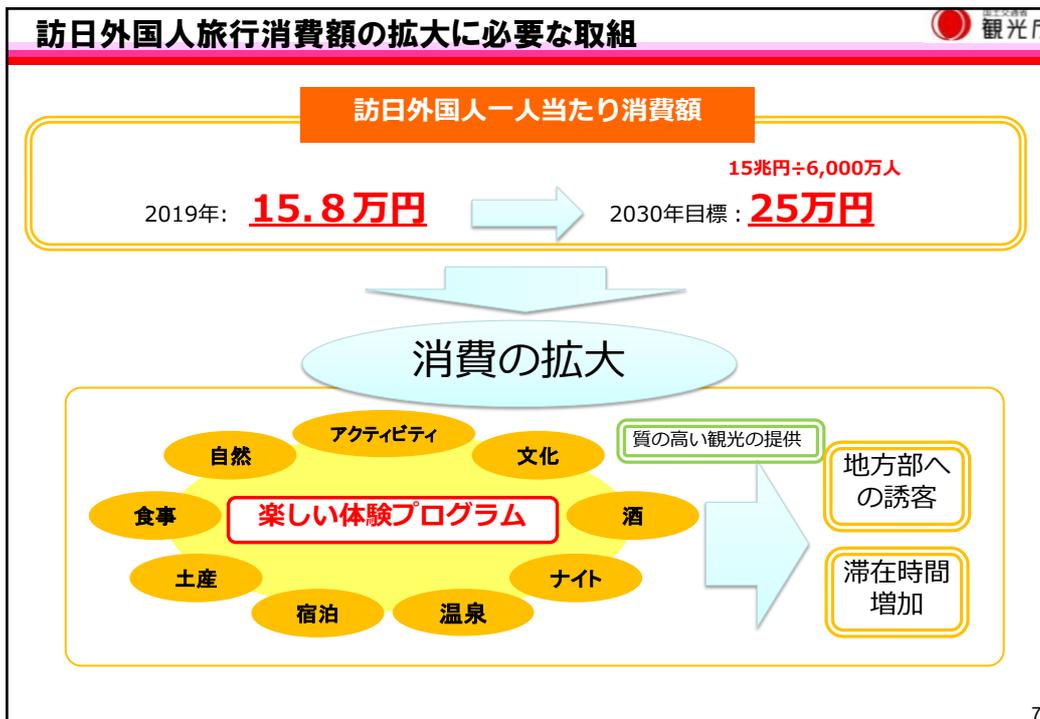




5



6



Adventure Tourism (AT) とは

アドベンチャーツーリズムの特徴

● **アドベンチャーツーリズムとは？**
以下の3つの要件のうち最低2つを含む旅行形態

● 旅行の目的

● 高い顧客単価

欧米の市場規模：約72兆円

地域	AT市場 (円)	従来市場 (円)
北米	3,290	1,033
南米	2,198	1,257
欧州	1,722	1,331

出典：AT市場はATTA資料。全市場はEuro-MonitorのデータからJTB総研が作成。
日本を対照とした際、AT市場は約1.7倍、従来市場は約1.7~2.5倍と推定。

地域における経済効果	アドベンチャーツーリズム	従来の旅行形態
	旅行者消費額の約65%	旅行者消費額の約14%

出典：USAID(2017)research study comparing mass tourism with adventure tourism in JORDAN

ATがなぜ日本で向いているか？

- **日本の豊かな自然と文化**
 - 欧米豪・ニュージーランドとは異なる魅力的な自然環境
 - 一年中アクセス可能で安全・インフラが整備
 - 豊かな自然の下での多彩なアクティビティ
 - 多様な文化（アイヌ文化・縄文文化・日本文化）
 - 食の選択肢は非常に幅広く、全ての好み・年代・所得レベルに対応可能

新たなインバウンド層の誘致のためのコンテンツ強化・地域資源磨き上げ事業

- 旅行に対するニーズが変容する中、**自然・文化といった豊富な観光資源を活用し、日本の本質を体感できるアドベンチャーツーリズムを推進。**
- **富裕層等の新たなインバウンド層**に訴求力の高い体験型観光として、アドベンチャーツーリズム等を推進することにより、**安全・安心な目的地**として世界の旅行者に来訪・滞在を促し、**地方部を含めた全国各地における消費機会の拡大**に繋げる。

「自然」・「文化」・「アクティビティ」の要素を組み合わせた旅行形態

地域の観光資源を活用したアドベンチャーツーリズムのモデルツアーの造成等

観光庁	連携	地方運輸局等
日本全体でのAT推進のための全体調査、戦略・ガイドラインの策定 <ul style="list-style-type: none"> ○ ATの取組に関する実態調査 ○ 販路拡大に向けた国内外調査 ○ 有識者検討会 等 		地域の観光コンテンツを活用したアドベンチャーツーリズムのモデルツアーの造成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 広域地域における取組体制の構築、コーディネーター・ガイド人材の育成・確保 ○ 自然資源・文化資源との連携を図った長期滞在プラン造成のための取組

自然資源・文化資源を活用した体験型コンテンツの例

アドベンチャーツーリズム等の充実へ資する潜在的な観光コンテンツの発掘・磨き上げ

観光庁	
観光コンテンツの発掘・磨き上げ、コーチング <ul style="list-style-type: none"> ○ 消費額増加や満足度向上に繋がる観光コンテンツの発掘・磨き上げ ○ 地域への専門家派遣によるコーチング（改善指導）の実施 <p>観光コンテンツの発掘（山伏文化等の地域資源）</p> <p>制作におけるディレクション（演出方法）</p>	改修・購入費の補助 <ul style="list-style-type: none"> ○ アドベンチャーツーリズムの充実へ資する観光コンテンツの実施に必要な物件の改修費や設備・備品の購入費等の補助 <p>物件改修 設備・備品</p>

夜間・早朝の活用による新たな時間市場の創出事業(令和2年度) 自然×アクティビティ

野沢温泉富裕層向け農LIFE & CAMPアグリツーリズム事業

□実施地域 長野県野沢温泉村

□事業概要

- スキーや温泉といった冬の観光資源が有名な野沢温泉村において、オフシーズン（冬以外の季節）を活用。
- 新たな農体験や宿泊、アクティビティ体験の観光資源化を推進。
- 従来の農業体験とは異なるリッチなアグリツーリズムツアーを創出することで、野沢温泉村の観光ブランディングを向上。

□ポイント

- 野沢温泉村の豊かな**自然**の中で、野菜収穫・火起こし・テント設営等の**アクティビティ**を創出することによって新たな地域の魅力を向上。



11

夜間・早朝の活用による新たな時間市場の創出事業(令和2年度) 自然×文化×アクティビティ

十和田・八甲田地域 ナイトタイム市場創出事業

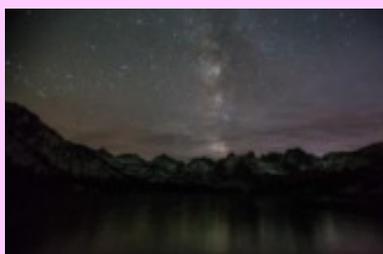
□実施地域 青森県十和田市

□事業概要

- 国立公園の十和田八幡平国立公園の活用。
- 鳶沼における夜間の星空観賞、天体撮影、早朝のヨガ、瞑想を含めた体験コンテンツの開発。
- 絶景を被写体にした撮影スキル等を学ぶライカフォトワークショップや氷の音楽祭を実施。

□ポイント

- **自然**（星空・国立公園）、**文化**（十和田市現代美術館）を活用しながら、夜間・早朝の時間帯における**アクティビティ**（ツーリズム・撮影ワークショップ）を創出することによって新たな地域の魅力を向上。



12

大正大学地域構想研究所
令和3年度「地域戦略人材塾」

第5回
「自然を活かした高付加価値な
持続可能観光(概念編)」

資料2 (環境省)

National Parks of Japan

日本の国立公園



～流水からサンゴ礁まで様々な風景が広がる日本の国立公園～

知床



阿蘇くじゅう



伊勢志摩



十和田八幡平



阿寒摩周



慶良間諸島



霧島錦江湾



日光



大山隠岐

1

National Parks of Japan

国立公園満喫プロジェクト

「明日の日本を支える観光ビジョン（2016年3月）」の柱の一つに国立公園が位置づけられる
 2016年～ 国立公園満喫プロジェクト開始 【訪日外国人の国立公園利用者数】 490万人（2015年）→667万人（2019年）

国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図る

- ◆ 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- ◆ 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

国立公園を核とした地域循環共生圏の実現

国立公園の優れた自然環境

最大の魅力は自然そのもの

保護

利用

地域の産業の活性化
地域の持続的な発展

地域資源として自然の価値向上

国立公園の磨き上げ

- ・ 景観改善（廃屋撤去等）
- ・ ビジターセンター等の再整備
- ・ 公共施設の民間開放（カフェ等設置）
- ・ 体験プログラムの充実
- ・ 多様な宿泊サービス充実

国内外へのプロモーション

- ・ オンラインパートナー企業との連携
- ・ SNSや海外メディアの活用
- ・ 旅行博・商談会の参加
- ・ 旅行会社等との情報交換会の開催

国際観光旅客税の活用による取組の強化 (2019年度～)

- ・ 利用拠点の滞在環境の上質化
- ・ 多言語解説の充実
- ・ 魅力あるコンテンツ充実（野生動物観光／グラビング／地場産品／ナイトタイム）
- ・ 日本政府観光局サイトへの一括情報サイト設置
- ・ ビジターセンターの機能強化等

2



国立公園等でのワーケーションの推進

- ✓ 国立公園において、テレワーク時代における、従来型の観光旅行以外の新しい利用価値を提供
- ✓ 地域にとっては新しい需要の取り込み、平日の観光地の活性化が期待（旅行に仕事を持ち込むではなく、長期滞在の実現と自然体験アクティビティなどエコツアーの活用）
- ✓ 豊かな自然の中で「遊び、働く」ことで、参加者にとってはクリエイティブな仕事につながる
- ✓ 地域とリモートワーカーの交流による地域課題の解決や新たなビジネスの創出にも

3

3



国立公園等への誘客およびワーケーション推進事業（補正予算22億円）

	申請状況	採択案件
誘客（ワーケーション関連含む）	713件	350件
ワーケーションの推進	396件	128件
ワーケーションの環境整備	78件	23件
合計	1,187件	501件

○自然体験アクティビティ等を行う事業者やDMO（観光地域づくり法人）等に対し、国立公園の誘客のためのエコツアー等の企画・実施および海岸清掃・修景伐採・歩道修繕といったツアー準備を補助

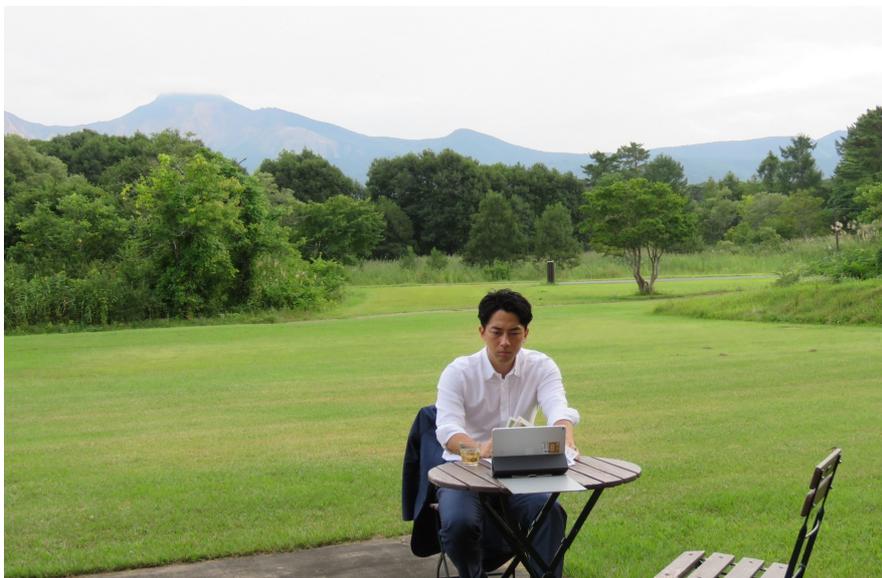
○国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等の事業者、DMO、地域協議会等に対し、**ワーケーションツアー等の企画、実施、プロモーション、Wi-Fi等の環境整備を補助**

○**ワーケーション関連**の申請（WiFi環境の整備、モニターツアーの実施、ワーケーション参加者向けのアクティビティ開発等）として**合計271件、約9億円**を採択

4

4

小泉環境大臣もワーケーションを率先実行(磐梯朝日国立公園)



5



環境省テレワーク実施要領の改定

- ✓ 昨年7月20日、小泉大臣の指示により、環境省職員によるワーケーションの推進を目指し、以下の通りテレワーク実施要領を各省に先駆け改定。国立公園等においても情報管理が出来る場所に限って対象地に追加

<テレワーク実施場所（実施要領より抜粋）>

職員の自宅及び実家・実方（ただし、業務情報が家族や第三者の目に触れないような場所がある場合に限る。）及び環境省サテライトオフィス利用要領にて定めた場所並びに所属長が承認した場所（ただし、第三者の入退室が制限できる場所が確保できる場合に限る。）（以下「実施場所」という。）とします。

6

6

ワーケーションDays

連休の中日の9/23~25に
環境省内で実施



- 係員～課長級まで**10名以上**が全国の国立公園・温泉地でワーケーション。
- **9割**の職員が**モチベーション↑、心身健康↑**を実感。
- **7割**の職員が**業務効率↑**、残り3割も登庁時と同程度の効率で勤務。



十和田八幡平国立公園



吉野熊野国立公園

類型別の感想

文豪型

朝夕温泉、自然に囲まれリラックス

ファミリー型

業務をこなしつつ家族時間を満喫

チームビルディング型

同僚との親密性向上、特定議論に集中

地域協働型

現場の生の声を業務の参考に



阿寒摩周国立公園



富士箱根伊豆国立公園

7

ワーケーション自治体協議会：長野県の例



白馬村（北アルプス）



八方池



スキー

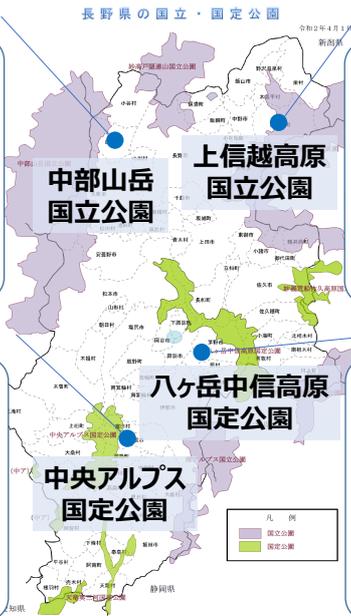


マウンテンバイク



テレワーク拠点
(hakuba share)

長野県の国立・国定公園



今知2年4月3日現在

山ノ内町（志賀高原）



スキー



紅葉



マウンテンバイク



コワーキングスペース
hiroen

駒ヶ根市（中央アルプス）



千畳敷カール



千畳敷



宝積山 光前寺



テレワーク拠点
(ぼとな)

長野県の国立・国定公園



今知2年4月3日現在

茅野市（八ヶ岳）



御射鹿池



八ヶ岳



車山



コワーキングスペース
ワークラボ八ヶ岳

8

野生動物観光促進事業について

令和元年度より、国際観光旅客税を財源とした「国立公園等資源整備事業費補助金」を活用し、外国人旅行者を対象とした野生動物を観察するツアーの開発やそれらのツアーの 프로모ーション等を行う野生動物観光促進事業を行い、外国人旅行者の地域における体験滞在の満足度を向上させる取組に対して支援を行う事業を実施。

令和3年度は「国立公園等の自然を活用した滞在型観光コンテンツ創出事業」として実施

【事業内容】

①コンテンツの作成
 ②地域一体となった効果的なコンテンツ提供の検討
 ③地域一体となった効果的なコンテンツ提供体制の整備

＜主な支援対象＞

- ・グランピング、ロングトレイル
- ・**野生動物観光**
- ・里地里山の暮らし体験、ワーケーション、ナイトタイム
- ・地場産品
- ・ファムトリップ、プロモーション

【事業スキーム】
 地方公共団体や民間事業者等への補助（1/2）

【効果】
 効果的なコンテンツの提供推進による、訪日外国人観光客の宿泊数の増加や消費額の増加

令和3年度予算（案）
 14.8億円
 （新規）



グランピング



地場産品



夜空観察



野生動物観光

9

**令和2年度国立公園等資源整備事業費補助金
 野生動物観光促進事業 採択事業者一覧**

申請者		事業における主な取組
名称・事業名	所在地	
株式会社ピッキオ 軽井沢・北海道道東における野生動物観光販売促進野生動物ウォッチングツアー開発事業	長野県軽井沢町	映像制作、ガイド育成、ツアー開発等
NPO法人 EnVision環境保全事務所 北海道の野生動物観光と生態系保全ネットワーク強化 ＝円山動物園による科学的正当性に基づく野生動物探求プログラム	北海道札幌市	円山動物園内でのエゾシカ映像の紹介及び外国人インフルエンサーの招聘など
一般社団法人 日本アルプスガイドセンター 日本アルプスの野生動物観察	東京都渋谷区	ライチョウ観察ルール作成等
兵庫県豊岡市 コウノトリ野生復帰海外情報発信事業	兵庫県豊岡市	映像等作成及び外国人インフルエンサー招聘など
NPO法人 おおいた環境保全フォーラム ウミガメ保全・野生復帰体験ツアー及びインバウンド観光プログラム開発事業	大分県大分市	生簀等受入施設整備、パンフ作成等及びガイド育成
合同会社 北海道山岳整備 大雪山国立公園高原温泉沼めぐり登山コースを中心としたインバウンド向けプログラム開発	北海道当麻町	ヒグマ対策含むツアー企画開発及び受入体制整備
インデムコンサルティング株式会社 中村玲子、ジェームズ・マックギールと行く日本の自然と野生動物を訪ねる旅 －全国のラムサール条約登録地を中心に、野生動物と共生する人々の暮らし、自然の恵みと賢明な利用の情報発信Part2	東京都新宿区	ラムサール湿地9カ所での取材及び尾瀬でのモニターツアー試行
根室市観光協会 落石ネイチャークルーズ インバウンド（英語圏）対応強化事業	北海道根室市	英語圏対応テキスト・パンフレット等作成事業

10

令和2年度野生動物観光促進事業 実施例「日本アルプスの野生動物観察」

希少種であるライチョウについて、「どちらかというと観光客からは遠ざけたいという保全側」と「収入源として活用したい観光事業者」とが連携することでライチョウが持続可能な観光資源に！

- ・日本文化とライチョウ及びその保全のストーリーの紹介による魅力の向上
- ・観察ルールを明文化し、それに沿ったツアーを地元ガイドが実施

→

- ・保全と地域の経済の両立
- ・来訪者の満足度の向上
- ・地域住民・来訪者の保全への理解促進

【主な取組】

- ①ルールブック作成
- ②モニターツアーの実施
- ③地域ガイドのツアー化を支援

【様々な関係者が連携】

動物園 環境省 研究者 山小屋 地元ガイド 日本アルプスガイドセンター

※実際のライチョウ観察ツアーの様子と観察用に作成したルールブック

11